

学校教育目標(具体目標)

- 一、敬愛の心があつく心情豊かな生徒
- 一、よく考え主体的に行動できる生徒
- 一、体力・気力の充実した健康な生徒

あかね雲
令和5年度 陽西中学校だより

第2号

R6.5.31発行

発行者

校長 鈴木佳之



体育祭でみせた 陽西生の底力

「獅子奮迅

～突っ走れ 仲間と共に頂点へ～

前線や台風1号の影響で雨が多かった今週、その合間を縫って体育祭日和となった5月30日8時10分。各学級の団長が集結し、精いっぱい戦い合うことを力強く誓い、競技が始まりました。



△最高の一瞬、体育祭の開幕です。



△学級カラーをベースにした手作りの学級旗を初めて作った1年生。旗振りや声援にも力が入ります。



△スタートラインに立つランナーの表情は真剣そのもの。スタートダッシュが勝負を分けるため、少しでも早くという思いが先走り、フライングが多くありました。



△パワーの引き合い「3年 レインボー引き」



△「陽西そ〜らん」を披露するまでの道のりは長く4月に始まります。最初は先輩たちの熱量に圧倒されていた1年生も、陽西生の一員になったという喜びを全身で表現していました。

3年生は最上学年の誇りをかけて、後輩の指導にあたり、しっかりまとめ上げました。陽西魂ここにありという気合の入った演技でした。



△最後は全員で肩を組み、校歌を歌いました。



△教職員も気合いを入れました。

「感謝の言葉」が幸せを生む



△陽西保育園の園児の飛び入り参加もあり、和やかな体育祭となりました。年中・年長さんも笑顔で走り切りました。

▽側転を披露してくれた年長さんです。



陽西保育園の園児たちは、テントでお行儀よく見学していました。いつもは中学生が使っている広～い校庭を走れることに喜び、元気いっぱい走り切りました。

保育園側は、とてもいい交流ができたことと喜び、何度も「ありがとうございます」と感謝の言葉をいただきました。学校側も素直な園児たちの姿に心が洗われましたので、こちらこそ「ありがとうございます」とお礼を伝えました。

「ありがとうございます」という感謝の言葉を素直に言えた時、心は温かくなります。その言葉を受けた側も心が温まり、幸せを感じることでしょ。

「ありがとう」という言葉は、感謝の言葉であるだけでなく、相手を受け止める言葉であり、癒しを与え、人間関係を円満にする言葉でもあります。

学校でも、家庭でも、地域でも、感謝の対象はたくさんあります。毎日の生活の中で、素直に「ありがとう」と感謝の気持ちを表して、心の温かさや喜び、感動といった幸せな気持ちを感じる場面を増やしていきたいものです。

体育祭の閉会式でも、最後は「ありがとうございました」で締めくくったのは、ここで述べてきた思いがあったからです。

大成功した体育祭、関係した全員に感謝です。改めて「ありがとうございました。」

さらに

充実した6月にしよう

あの熱く燃えた体育祭は昨日のこと。完全燃焼後は気持ちも切り替えやすいものです。月も替わりますので、次にねらいを定めて生活しましょう。主なものだけでも、

京都奈良への修学旅行 (6/8～10)

1学期中間テスト (6/20)

総合体育大会宇河地区大会 (6/28～)

があります。引き続き慌ただしい月になりそうですが、一つ一つ大切に乗り切っていきたいものです。

修学旅行「最高の思い出に」



1学期中間テスト「努力は必ず報われる」

中間テストまで3週間を切りました。「まだ3週間」と思うか、「もう3週間ない」と思うか、気持ちの持ち方次第で、取り組みも変わってきます。2・3年の一部の教科は前年度の学習内容も含まれ広範囲になります。学校での授業だけではなく、家庭での学習量が成果へとつながります。総体もありますので、家庭学習を画的に学習するようご家庭でも協力をお願いいたします。



総合体育大会宇河地区大会

「3年にとっては最後の大会、全てを出し切れ」



昨年の激励会